

4 **日本農業遺産認定!**

山形県紅花振興協議会(3月25日 山形市)

室町時代末期から続く山形の紅花生産。日本の伝統文化の発展に大きく貢献し、現在では日本で唯一、山形にだけ残る生産と染色用加工システムが評価され、日本農業遺産に認定されました。会議で吉村知事は、「認定されたことは喜ばしく、携わる方々にとって、大きな誇りとなるもの。」とあいさつしました。今回の認定を契機に、栽培面積の拡大や紅花文化の伝承などの支援の強化と、国内外への積極的な情報発信により、地域の活性化につなげていきます。



5 **四季を通した誘客の拡大に向けて**

国際定期チャーター便の到着歓迎(3月28日 東根市)

台湾から県内2空港への春夏期の定期チャーター便の運航が始まりました。この日、第1便が到着した山形空港は満開の啓翁桜で彩られ、「やまがた愛の武将隊」などの関係者が華やかな雰囲気でお客様を出迎えました。台湾からの春夏期の定期チャーター便の運航は県内では初めてで、8月2日までの間、山形・庄内空港を合わせて84便が運航されます。今後も、四季を通した本県の魅力のPRにより、一層の誘客拡大に取り組んでいきます。



1 **上皇上皇后両陛下の写真展を開催しました**

記念写真展「平成の山形県行幸啓」(2月24日～3月7日 山形市)

上皇上皇后両陛下におかれましては、天皇皇后両陛下として4回御来県いただきました。県では、1月に御即位30年を迎えられたことをお祝いする、記念の写真展「平成の山形県行幸啓」を県立博物館と山形県郷土館「文翔館」で開催しました。平成4年の「べにばな国体」や平成28年の「全国豊かな海づくり大会」など、御訪問の先々で多くの県民と親しく御交流いただいている御様子などを写した約80点の写真パネルを展示し、多くの皆様に御覧いただきました。



2 **1万人が大歓声!**

モンテディオ山形VS大宮アルディージャ(3月17日 天童市)

2月に開幕したJ2リーグの第4節。ホーム開幕戦には、1万人を超える大勢のサポーターが駆けつけ、大きな声援を送りました。その結果、3試合連続での完封勝利、そして4年ぶりのホーム開幕戦の勝利をつかみ取り、選手とサポーターが喜びを分かち合いました。ホームでのスタートダッシュに成功したモンテディオ。42節までの長い戦いは始まったばかりです。スタジアムへ足を運んでJ1復帰へ向け大きな声援を送り、皆さんの力で勝利を後押ししましょう。



©MONTEDIO YAMAGATA

3 **県内移動・周遊の利便性向上!**

東北中央自動車道「東根IC～東根北IC」開通式(3月23日 東根市)

空の玄関口「おいしい山形空港」へのアクセス向上につながる、東根IC～東根北IC間が開通しました。これにより、インバウンド観光の促進につながるほか、地域特産物をより速く輸送できるようになります。4月13日には、南陽高畠IC～山形上山IC間が開通し、南東北の県庁所在地を結ぶ環状ネットワークが形成されました。観光誘客や交流人口の拡大、産業振興など、本県はもとより東北の高速道路の全線開通に向け、要望などの取組みを継続していきます。



にっこり

知事室!

外国の皆さん、山形県へようこそ!!

2018年の1年間で日本を訪れた外国人は初めて三千万人を突破! 政府の2020年目標は四千万人です。こうした中、本県にも海外からたくさんの方に来ていただけるようになり、最近では、山形駅前でも外国の方をよくお見かけします。人口減少により地域経済の縮小が懸念される地方にとって、外国人の誘客拡大は地域経済を活性化させるために重要なことですね。

昨年度は、本県における国際チャーター便が年間150便を超え、今年度はさらに増える見込みです。台湾からの春夏チャーター便の運航は、本県が日本一の生産量を誇るさくらんぼの時期まで続きます。シーズンには、県内各地でさくらんぼ狩りを楽しむことができますので、冬の蔵王の樹氷と並んで、たくさんの方から本県のさくらんぼ狩りを楽しんでいただきたいと思います。

外国人が安心して快適に観光を楽しめるよう、キャッシュレス決済や飲食メニュー等の外国語表記など、官民一体となって県民みなで受入態勢を整備していくことで、さらなる誘客につなげていきたいですね。



皆さんも山形らしい、心に残るおもてなしでお迎えください。

山形県知事 吉村とよ子